

イベント開催時における新型コロナウイルス感染症 対策ガイドライン（鯖江市）

今後開催するイベント等につきましては、本ガイドラインに基づき対応します。

【4月末までの人数上限等】

- ①全イベントにおいて参加者、主催者等は「イベント開催の前提となる留意事項」に取り組むこと。
 ②各イベントの類型ごとに定められた要件等を満たすこと。
 ①、②を満たした場合に、下記の人数上限等による開催を可とする。

※参加者が1,000人を超えるイベントについては、事前に県の所管課に相談の上、感染状況やイベントの態様等から適切に判断

大声での歓声・声援等がないことを前提とするイベント <u>クラシックコンサート、演劇、式典、展示会等</u>			大声での歓声・声援等が想定されるイベント <u>ロック・ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技等</u>			大声での歓声・声援等がないことを前提とするイベント 大声での歓声・声援等が想定されるイベント <u>お祭り、野外フェス等</u>		
適切な行動確保ができるもの			適切な行動確保ができるもの			適切な行動確保ができないもの		
						全国的・広域的な人の移動がある又は参加者の把握ができない	全国的・広域的な人の移動がないかつ参加者がおおよそ把握できる	
収容人数一万人超	収容人数一万人以下	定員設定なし	収容人数一万人超	収容人数一万人以下	定員設定なし	定員設定なし	定員設定なし	
【50%以内】	【5,000人】 又は 【100%以内】 どちらか小さいほうを 限度	密が発生しない間隔（最低限、人と人が接触しない程度の間隔）を空けることとする	【50%以内】	席固定 【5,000人】又は【100%以内】 個人またはグループ間では前後左右一席は空けたうえで、どちらか小さい方を限度	十分な人と人との間隔（1m）を設けることとする	十分な人と人との間隔（1m）を設けることとする	十分な人と人との間隔（1m）を設けることとする ※当該間隔の維持が困難な場合は開催について慎重に判断する	十分な人と人との間隔（1m）を設けることとする
				移動自由 【5,000人】又は【50%以内】 どちらか小さいほうを限度				

※適切な行動確保とは、席があるなど、参加者の位置や動線が固定されている状態

イベント開催の前提となる留意事項

【イベント参加者】

- ・発熱等の症状があるものはイベントに参加しないこと。
- ・イベント参加前に「接触確認アプリ（COCOA）」のダウンロードをすること。また、イベント主催者から連絡先登録等の求めがある場合積極的に応じること。
- ・熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則マスクを着用すること。また、こまめな消毒や手洗いなど、「新しい生活様式」に基づく行動を徹底すること。
- ・入退場時、休憩時間や待合場所等を含め、いわゆる3密（密集、密接、密閉）の環境を避けるほか、そこにおける交流等を控えること。
- ・イベント参加前後には、移動中や移動先における感染防止のための適切な行動（例えば、打ち上げ等における感染リスクのある行動の回避）をとること。

【イベント主催者及びイベントを開催する施設の管理者】

- ・入場時等に検温を実施し、発熱等の症状があるものはイベントの参加を控えてもらうようにすること。その際の払い戻し措置等を規定しておくこと。
- ・イベントを開催する前に、イベント参加者に「接触確認アプリ（COCOA）」のダウンロードを促すこと。また感染拡大防止のためイベント参加者の連絡先等の把握を徹底すること。
- ・福井県が設定する「県民行動指針」に基づいた運営を行う。開催日の前日までに県の感染注意報・警報・特別警報が発令されている場合、イベントの開催について慎重に協議すること。
- ・開催日の2週間前までに鯖江市内で新規感染者が確認された場合、イベント開催の中止や日程の変更を検討する。
- ・イベントを開催する際には、熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクの着用を促すこと。また、こまめな消毒や手洗いなど、「新しい生活様式」に基づく行動を徹底することを促すこと。
- ・イベントを開催する際には、入退場時、休憩時間や待合場所等を含め、いわゆる3密（密集、密接、密閉）の環境を作らないように徹底するほか、そこにおける交流等を極力控えるよう呼びかけること。
- ・イベントを開催する前後には、観客やスタッフ（選手、出演者を含む）の移動中や移動先における感染防止のための適切な行動（例えば、業務上必要性のない外出等による感染リスクのある行動の回避）を促すこと。

収容率及び人数上限の緩和を適用する場合の条件について

- ・以下の措置のいずれもがイベント主催者及び施設管理者の双方において「業種別ガイドライン」により担保され、かつ、主催者側等から感染防止の取組が市に提出されている場合に、1ページ（4月末（終期は未定）までの人数上限等）の人数制限を適用する。
以下の措置が担保されない場合、広域的、かつ、不特定多数の来客等が見込まれるイベントについては開催を認めない。

イベント開催制限の緩和に伴うリスクを軽減するための措置
<p>① 消毒の徹底（感染リスクの拡散防止）</p>
<p>② マスク着用の担保（感染リスクの拡散防止） マスクを持参していないものに対して主催者側でマスクを配布、着用率100%を担保</p>
<p>③ 参加者及び出演者の制限（感染リスクの拡散防止） 有症状者の出演・入場を確実に防止する措置の徹底（検温の実施、有症状者の出演・練習を控えること、主催者が払い戻しの措置等を規定しておくこと等）</p>
<p>④ 参加者の把握（感染リスクの拡散防止） 事前予約時または入場時に連絡先を確実に把握すること、「接触確認アプリ（COCO A）」ダウンロードの呼びかけ等の具体的措置を講じること</p>
<p>⑤ 大声を出さないことの担保（大声の抑止） 大声を出す者に、個別に注意、対応等ができるよう体制を整備（人員を配置する等） スポーツイベント等ではラッパ等の鳴り物を禁止し、個別に注意、対応等ができるよう体制を整備</p>
<p>⑥ 密集の回避（イベントの入退場や休憩時間における3密の抑止） 入退場列や休憩時間の密集を回避する措置（人員配置、導線の確保等）や十分な換気 休憩時間中及びイベント前後の食事等での感染防止 入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、目安の人数上限等を下回る制限の実施</p>
<p>⑦ 演者・観客間の接触・飛沫感染リスクの排除 演者・選手等と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがあるイベントについては開催を見合わせる</p>
<p>⑧ 催物前後の行動管理（交通機関、イベント後の打ち上げ等における3密の抑止） 公共交通機関・飲食店等での密集を回避するために、交通機関・飲食店等の分散利用を注意喚起。可能な限り、予約システム等の活用により分散利用を促進</p>

イベント参加に係る問診票

1、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、以下の問診票への回答をお願いします。

当日、体温が37.5℃以上の発熱がある方、咳を繰り返している方、体調がすぐれない方、過去の行動から感染が疑われる方は参加を禁止致します。また、スタッフがお客様の様子を見て疑わしい場合にはお声がけさせていただきますのでご了承ください。

2 週間前からの症状（状況）についておうかがいします。

- ・ 37.5℃以上の発熱はありましたか (ある なし)
- ・ 咳の症状はありましたか (ある なし)
- ・ のどの痛みはありましたか (ある なし)
- ・ 倦怠感はありましたか (ある なし)
- ・ 息切れはありましたか (ある なし)
- ・ 嗅覚や味覚に異常がありましたか (ある なし)
- ・ その他の体調不良はありましたか (ある なし)
(ある場合はその症状を記入ください_____)
- ・ 上記に該当する方との接触はありましたか (ある なし)
- ・ 当日朝の体温 (_____ °C)

- ・ 県外への移動はありましたか (ある なし)
 《期間》 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 月 _____ 日
 《行先》 _____
 《目的》 出張・帰省・旅行・その他
- ・ 同居家族の方について県外への移動はありましたか (ある なし)
 《期間》 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 月 _____ 日
 《行先》 _____
 《目的》 出張・帰省・旅行・その他

2、以下にご記入をお願いします。

住所/所在地 _____

氏名 _____

年齢 _____ 才 電話番号 _____

年 月 日

個人情報や問診票の回答内容は慎重に取り扱い、感染症対策以外のことに利用されることはありません。ご協力をお願い致します。